

K A W A K A M I D A M 2008

川上ダム通信

11月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

川上ダム早期整備 4府県知事共同意見表明

国土交通省近畿地方整備局より琵琶湖・淀川流域の関係6府県知事に対して、意見が求められていた「淀川水系河川整備計画(案)」に、11月11日(火)に三重県、滋賀県、大阪府、京都府の4府県知事より共同意見が発表されました。その中で、川上ダム建設事業については、基本的に合意し、環境への配慮を行い、早急に整備を図るとの内容で建設推進が表明されました。

今後は、ダム本体工事への準備工事に着手できるよう諸作業を進めていきます。【総務課長 吉岡直也】

川上ダム建設促進期成同盟会 西山甲平会長 聞く!! ~4府県知事 川上ダム建設合意について~

長いトンネルにやっと明かりが見えたかなというのが正直なところ。本当に長かった。あとは、もう当然の話として一刻も早く着工し、完成を願う。コスト削減は必要だし、環境にも配慮してほしい。特に青山地区の人達の悲願だから。岩倉峽を開削しないかぎり、伊賀上野地区の洪水対策は完璧とはならないが、代替として遊水池やダムが必要であり、そういう方向を認めた4府県知事の合意は大いに結構。 【取材：調査設計課 竹之内健太】



西山甲平会長

ダムサイトの地質は大丈夫!!

~土木研究所専門技術者による現地調査を行いました~

11月6日(木)、7日(金)に川上ダムの地質の状態を確認する目的で、独立行政法人土木研究所の専門技術者による現地調査が行われました。独立行政法人土木研究所は土木技術に関する調査、試験、研究及び開発並びに指導及び成果の普及等を行うことにより、土木技術の向上を図り、良質な社会資本の効率的な整備に資することを目的とした専門機関です。国内の治水を目的とするダムでは、土木研究所で蓄積した知見を活かした高度な診断、指導を経て建設されています。

当日は、ダムサイトの地形や右岸鞍部の状況を確認後、ダムサイトの横坑やボーリングコアなど地質調査結果を確認していただきました。専門技術者の方々からは、岩盤も硬く良好でダムサイトとして問題ないとの評価をいただきました。 【調査設計課長 岩本浩】



土木研究所専門技術者による現地調査

付替県道松阪青山線の全線供用開始！！

11月17日（月）付替県道松阪青山線の全線供用開始を迎えることができました。また、供用開始を迎えるにあたり地元自治協議会（博要・矢持住民自治協議会）主催の供用開始式典が関係者多数出席の中、盛大に執り行われました。

付替県道松阪青山線工事は起点の伊賀市種生から終点の伊賀市青山羽根までを結ぶ延長約5kmの道路工事で、川上ダム建設に伴い水没する道路の機能回復と県の道路拡幅を目的とし、幅員が5.2mから8mに拡幅され、車両の通行がスムーズになり、安全性も向上することとなりました。

これまで、終点側の延長約3.5kmについて4度にわたり部分的に供用区間が延長されてきましたが、残りの区間である延長約1.5kmが完成し、今回の全線供用開始となったものです。この付替県道の供用開始は川上ダム建設事業にとって重要な一里塚となりました。（なお、旧県道は12月15日から通行できなくなると三重県伊賀建設事務所より聞いています。）

工事の実施にあたり、地域の皆様から多大な御協力・御支援をいただき今回の全線供用開始を迎えることができましたことに対して心から御礼を申し上げます。
【工務課長 柳生光彦】

付替県道松阪青山線供用開始式典写真



式典開始前



供用開始式典開会



来賓挨拶



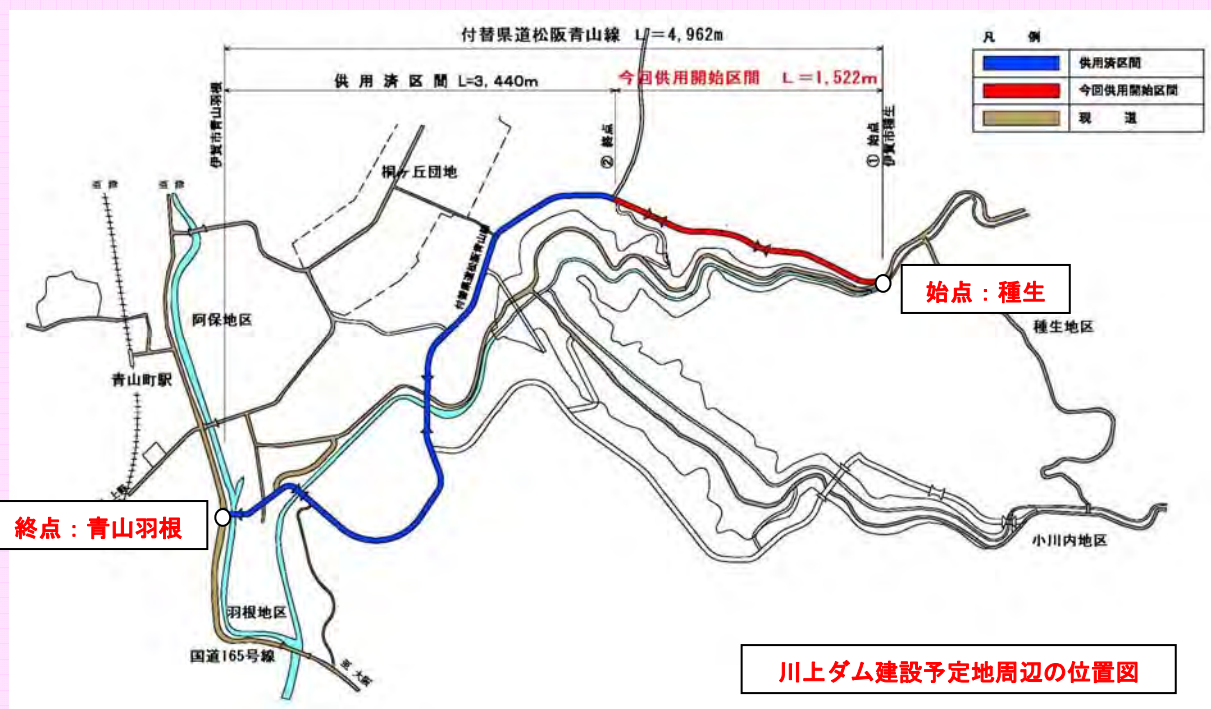
事業者挨拶 及川所長



テープカット



走り初め



～ブナ林の保全を目指して～

伊賀市環境保全市民会議のイベントに参加しました

伊賀市域に唯一現存するブナ林については、幼木が育っていないことから、ブナの衰退が懸念されています。そこで、市民団体が構成する「伊賀市環境保全市民会議」では、今年からブナの種を採取し、参加者それぞれがブナを栽培して大きくなったら元の山に戻す取り組みを始めています。今回のイベントは、11月3日（月）に、伊賀市勝池にある奥山愛宕神社で開催され、約40名の参加者が約1haの斜面に生えているブナの種を拾いました。その翌日には、川上ダム建設所に持ち帰った約100粒の種をプランタに植えつけました。今後は、概ね3年かけて30cm程になるまで育てた苗木を、今回参加された方々と山に植えに行く予定です。

これからも地域の貴重な自然を残していくため、このような取り組みに積極的に参加したいと思います。

【環境課 水野正明】

伊賀市環境保全市民会議ホームページ：<http://www.city.iga.lg.jp/ctg/12051/12051.html>

ブナの種拾いのイベントについて：<http://www.city.iga.lg.jp/ctg/12112/12112.html>



奥山愛宕神社のブナ林



種の植え付け

平成20年度水資源機構技術研究発表会

水資源機構では、職員が日常業務の中で取り組んだ様々なテーマについて、取りまとめて、報告することにより職員の技術力の向上を図るとともに、一般の方々や関係県、利水者の方々に機構の技術力や機構業務について理解を深めてもらうため、技術研究発表会を開催しています。

11月12日（水）、13日（木）に水資源機構本社で平成20年度水資源機構技術研究発表会が開催されました。9月から10月にかけて全国で開催されたブロック別発表会において選ばれた30人が発表を行いました。

川上ダム建設所からは、関西ブロックにおいて選ばれた（川上ダム通信9月号掲載）、環境課の磯野正典が「川上ダムのオオサンショウウオ道遡上試験について」と題し発表しました。

今回の発表で、関西ブロックだけでなく、他のブロックの機構職員にも川上ダムの環境について伝えることができました。質問も多数あり、オオサンショウウオについても興味を持ってくれたと思います。今回の発表会で学んだ様々な取り組み事例を参考に、業務に取り組んでいきます。

【環境課 磯野正典】



発表（環境課 磯野）

桐ヶ丘フェスタ2008に出展

11月1日(土)、伊賀市桐ヶ丘三丁目駐車場・アミティにおいて、NPO法人まちづくり桐ヶ丘主催により「桐ヶ丘フェスタ2008」が開催され、川上ダム建設所からブースを出展し、ダムの効果やオオサンショウウオの生息環境保全対策に関するパネル展示及びクイズを行い、約200名の方にお立ち寄りいただきました。

ブースに立ち寄っていただいた方の中には、10月に実施した「水の調査隊」に参加された地元小学生も含まれ、「この前、見学会に参加した」などの声を掛けていただきました。

今後も、施設見学会やブースの出展などを積極的に行うことにより、地元住民の方に川上ダム建設事業を理解していただけるように取り組んで参ります。



川上ダムブースの様子

【総務課 中川雅樹】

地元の偉人シリーズ予告：西嶋八兵衛

西嶋八兵衛は、藤堂高虎に仕え、大阪城の1年の修復や満濃池の補修や雲出井用水、等、数々の水利をはじめとする土木工事をを行った人物で俳句の素養もあった人物として有名です。この紙面でも、西嶋八兵衛をとりあげております(川上ダム通信1月号～3月号掲載)。改めて次号以降(不定期)から掲載したいと考えています。

掲載にあたりまして、稲垣正昭氏(以下に紹介)の御協力・御助言をいただき編集していきます。



八兵衛の像

稲垣正昭氏：伊賀市上野で、西嶋八兵衛を研究され、西嶋八兵衛に関することをブログに掲載されています。本業では、酒屋さんを営んでおられます。

【第一用地課長 芦田哲郎】

稲垣正昭氏のブログ：<http://ict.easymyweb.jp/member/sakenabe/default.asp>



稲垣正昭氏

EVENT

敢国神社例祭

県無形文化財の獅子神楽を奉納し、五穀豊穡、家内安全を祈願します。5日には境内にて抹茶奉仕あり。

○日時／12月4日(木) 9:00～13:00頃

12月5日(金) 11:00～14:00頃

○場所：敢国神社

名阪国道・伊賀一之宮インターから車3分

○問い合わせ／敢国神社

〒518-0003 三重県伊賀市一之宮 877

TEL 0595-23-3061

青山高原からの初日の出【初日の出】

例年約500人ほどの人出で賑わいます。

○日時／12月31日(水)～2009年1月1日(木/祝)

○場所：青山高原

近鉄西青山・東青山駅下車徒歩2時間

国道165 青山高原入口から車20分

○問い合わせ／津市久居総合支所産業環境課

〒514-1192 津市久居東鷹跡町 246

TEL 059-255-8846

編集後記

急に寒くなりました。インフルエンザが流行り、学級閉鎖になっている学校もあるようです。手洗い・うがいをしっかりとし、健康管理に気をつけましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治 (川上ダム建設所長)

デスク 吉岡 直也 (総務課長)

// 柳生 光彦 (工務課長)

通信記者 磯野 正典 (環境課)

// 竹之内健太 (調査設計課)

// 箕輪 律子 (総務課)



ISO14001 : 2004

JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇